

南九州の成長と

九州圏土づくり

南九州は国内外の食糧拠点であり、亜熱帯気候を活かした食材や豊かな観光資源の提供など、趣の異なる特性と魅力を有しています。

今回のシンポジウムでは、こうした成長力を活かしながら安らぎと豊かさを備えた九州圏土づくりを進めるために必要な視点や対応策とは何か、について有識者のみなさんに多角的な視点から議論していただきます。

基調講演

「これからの国土のあり方と九州の役割」

■講師 西村 幸夫
東京大学大学院工学系研究科教授

論点提供

「九州の地域構造と南九州」

■プレゼンター 烏丸 聡
(株)鹿児島地域経済研究所 経済調査部長

パネルディスカッション

「九州圏土づくりにおける南九州の将来像」

- パネリスト
- 西村 幸夫 東京大学大学院工学系研究科教授
- 烏丸 聡 (株)鹿児島地域経済研究所経済調査部長
- 北村 良介 鹿児島大学工学部海洋土木工学科教授
- 大野 芳雄 鹿児島銀行取締役会長
- 桑野 和泉 (株)玉の湯代表取締役社長
- 小原 恒平 国土交通省九州地方整備局長
- コーディネーター
- 浜畑 剛 南日本新聞社編集局長

日時 H19.7/6 金

13:00開場 13:30開演 16:30終演予定

会場

鹿児島サンロイヤルホテル
2F「太陽の間」
鹿児島市与次郎1-8-10 TEL / (099) 253-2020

in 鹿児島

—九州圏広域地方計画の策定に向けて—

国土形成計画シンポジウム

主催／国土交通省九州地方整備局・九州運輸局
 後援／九州圏広域地方計画プレ協議会(警察庁九州管区警察局 総務省九州総合通信局 財務省九州財務局
 厚生労働省九州厚生局 農林水産省九州農政局・九州森林管理局 経済産業省九州経済産業局
 国土交通省大阪航空局・第七管区海上保安本部・第十管区海上保安本部
 環境省九州地方環境事務所 福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 山口県 沖縄県
 北九州市 福岡市 九州市長会 九州地区町村会長会 (社)九州経済連合会 九州商工会議所連合会
 西日本新聞社 佐賀新聞社 長崎新聞社 大分合同新聞社 熊本日日新聞社 宮崎日日新聞社 南日本新聞社 全国地方新聞社連合会

定員200名
入場無料

H19.7/6金

13:00開場 13:30開演 16:30終演予定

会場
鹿兒島サンロイヤルホテル
2F「太陽の間」

鹿兒島市与次郎1-8-10 TEL / (099)253-2020



会場のご案内



交通アクセス

- JR鹿兒島中央駅下車、タクシーで10分
- 鹿兒島空港から空港バス鴨池港行き乗車、与次郎一丁目下車すぐ
- 九州自動車道～鹿兒島IC～鹿兒島市街地方面へ向かい、武岡トンネルを抜け直進15分右手



九州の約4割の面積を占める南九州(鹿兒島県、宮崎県)には、九州全体の約2割の人が暮らし、GDPは2割程度と圏域全体で見た場合、経済・人口規模での格差があります。加えて高速道路や港湾等の整備は不十分で、他地域との競争基盤は充実しているとはいえません。一方、肉牛や野菜を中心とした食糧供給拠点であり、離島部では亜熱帯気候を活かした食材や観光資源の提供など、趣の異なる特性と魅力を有しています。

そこでこれからの10年、南九州が新幹線駅とその周囲に広がるさまざまな地域資源がもたらす経済波及効果を発信し、九州圏が南北で共助しながら圏域内外での継続的な発展を続けるための仕組みづくりや必要な視点等について、有識者のみなさんに提起していただきます。

参加申込について

右記の申込様式に必要事項をご記入の上、郵送、FAX、電子メールのいずれかにてお申し込みください。参加証をお送りします(応募者多数の場合は抽選)

- 申込先
〒812-0013
福岡市博多区博多駅東2-10-7 福岡第二合同庁舎
国土交通省九州地方整備局 企画部 広域計画課
- FAX
092-476-3466
※「参加申込書」は切り取らず、このチラシのままお送りください。
- 電子メール
kikaku@qsr.mlit.go.jp
- 締め切り
平成19年7月2日(月) 必着

● 参加申込書

どちらかに☑を記入してください。 □個人 □法人

個人名 法人名	
参加人数	名
電話番号	
住 所	〒
担当者名 (法人の場合記入)	

※ご記入いただいた個人情報九州地方整備局が管理し、参加証送付および連絡の目的以外には一切使用致しません。

お問い合わせ

国土交通省九州地方整備局 企画部 広域計画課 TEL. 092-471-6331(代表)